

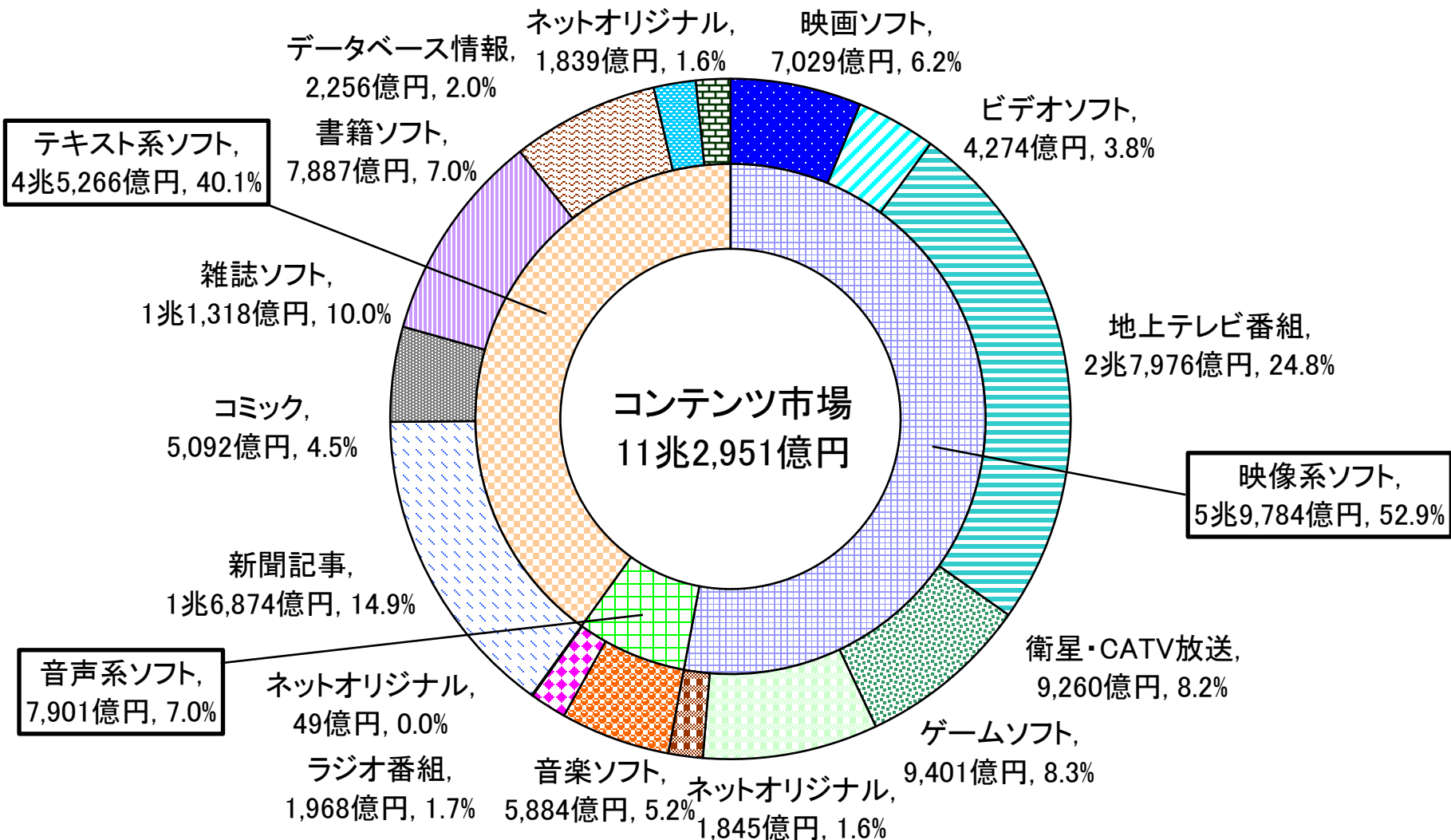
# メディア・ソフトの制作及び流通の実態 に関する調査結果の概要について

平成27年7月

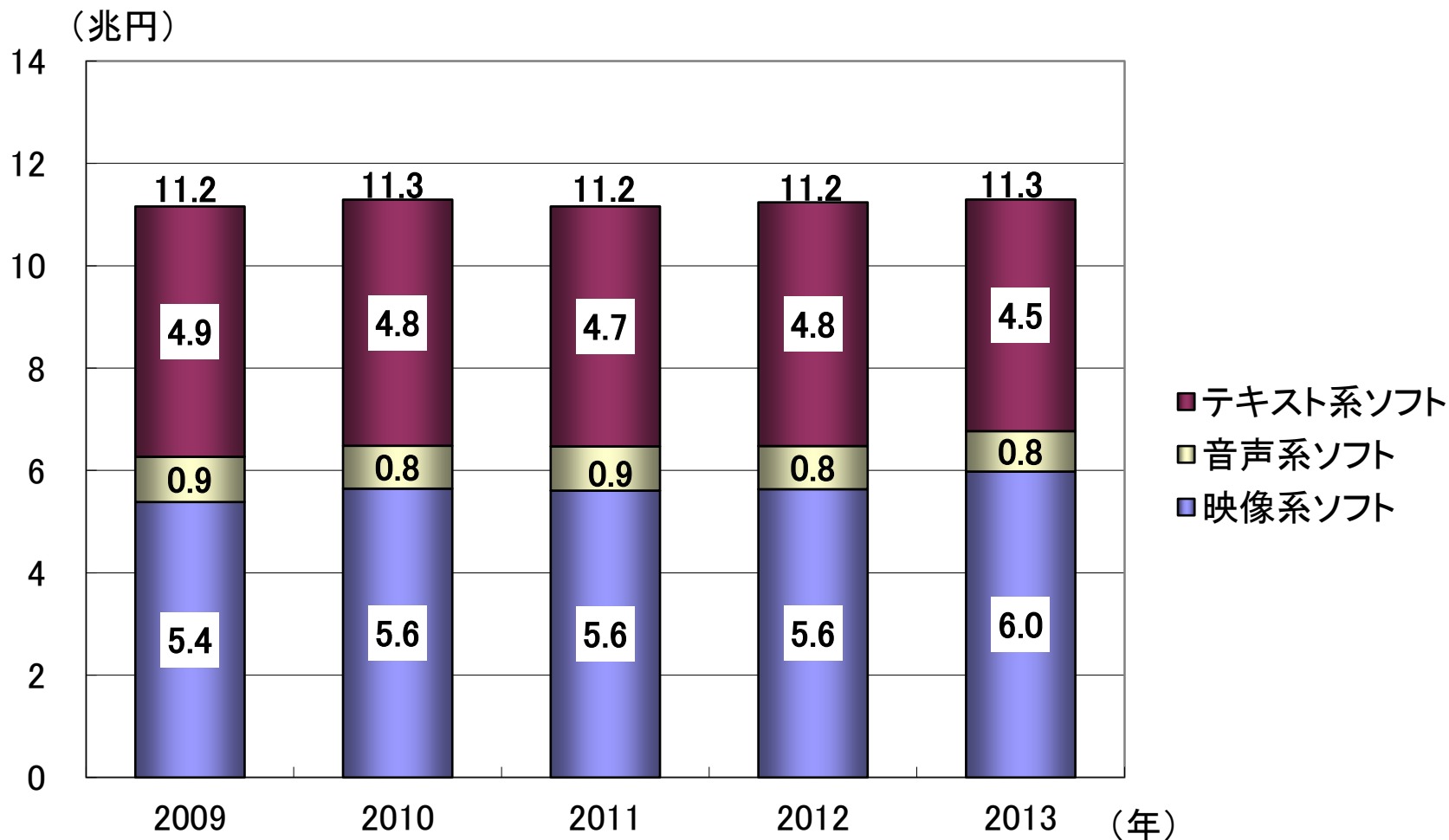
総務省情報通信政策研究所

# コンテンツ市場規模（2013年）

2013年のコンテンツ市場規模は11兆2,951億円。  
ソフト別の市場構成比では、映像系ソフトが全体の5割超、テキスト系ソフトが約4割、音声系ソフトは1割弱をそれぞれ占める。

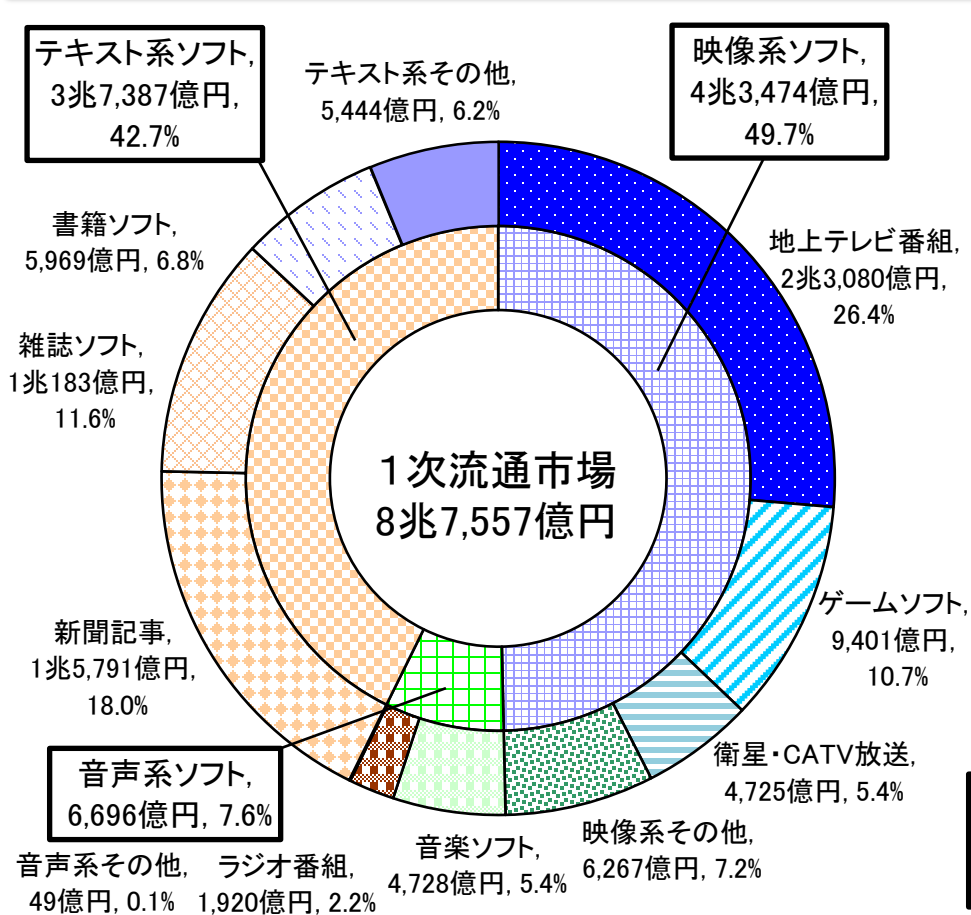


コンテンツ市場全体の市場規模は、2009年以降ほぼ横ばいで推移している。ソフト形態別の市場規模をみると、2009年から2012年までは各ソフトとも横ばいで推移していたが、2013年は映像系ソフトが拡大した一方で、テキスト系ソフトが縮小している。



# 1次流通市場とマルチユース市場（2013年）

2013年の1次流通市場は、8兆7,557億円となり市場全体の8割弱を占める。  
2013年のマルチユース市場は、2兆5,394億円となり市場全体の2割強を占める。

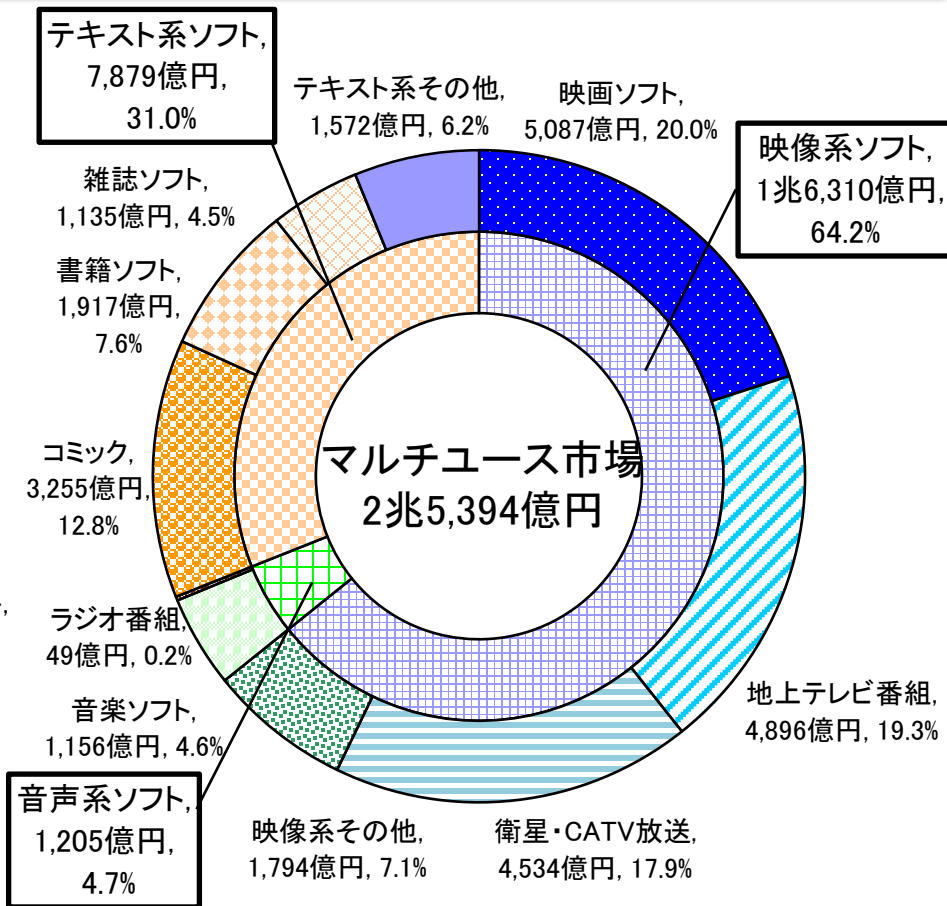


※「映像系その他（一次流通市場）」の内訳

映画：1,942億円、ビデオ：2,480億円、ネットオリジナル：1,845億円

**一次流通市場：**

あるソフトが、当初想定するメディアにおいて流通する場合のこと。



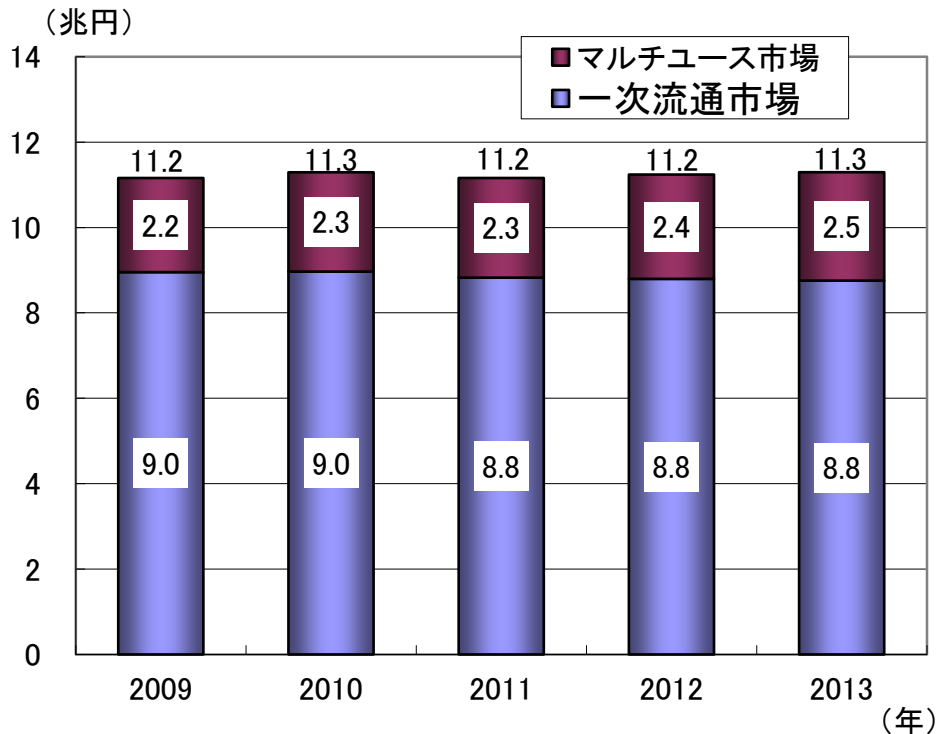
※「映像系その他（マルチユース市場）」の内訳  
ビデオ：1,794億円

**マルチユース市場：**

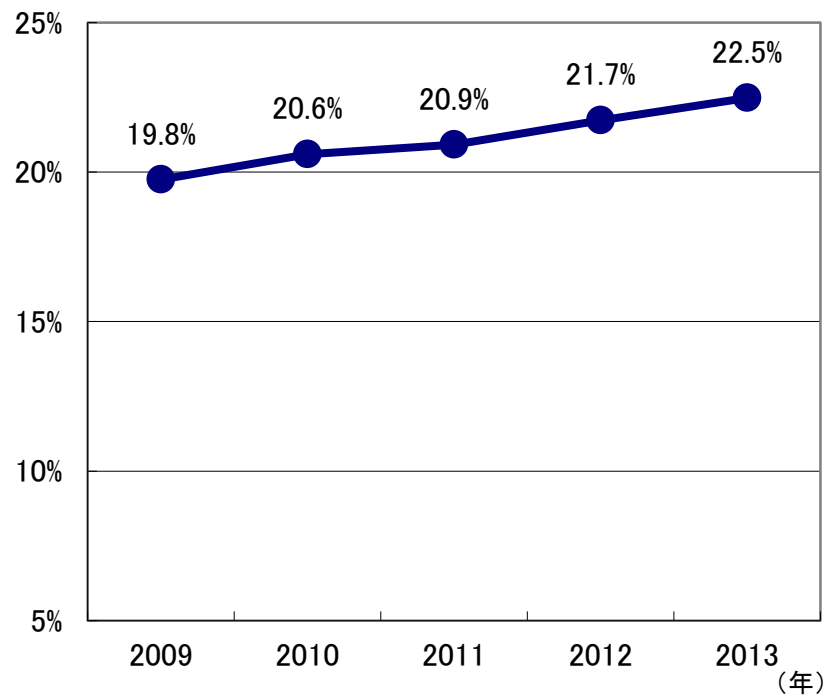
あるソフトが、内容の同一性を保ちつつ、当初想定したメディアとは異なるメディアで流通する場合のこと。

1次流通市場、マルチユース市場の各流通段階別のコンテンツ市場規模をみると、2009年以降、マルチユース市場が増加傾向になっている。

## 流通段階別コンテンツ市場規模の推移

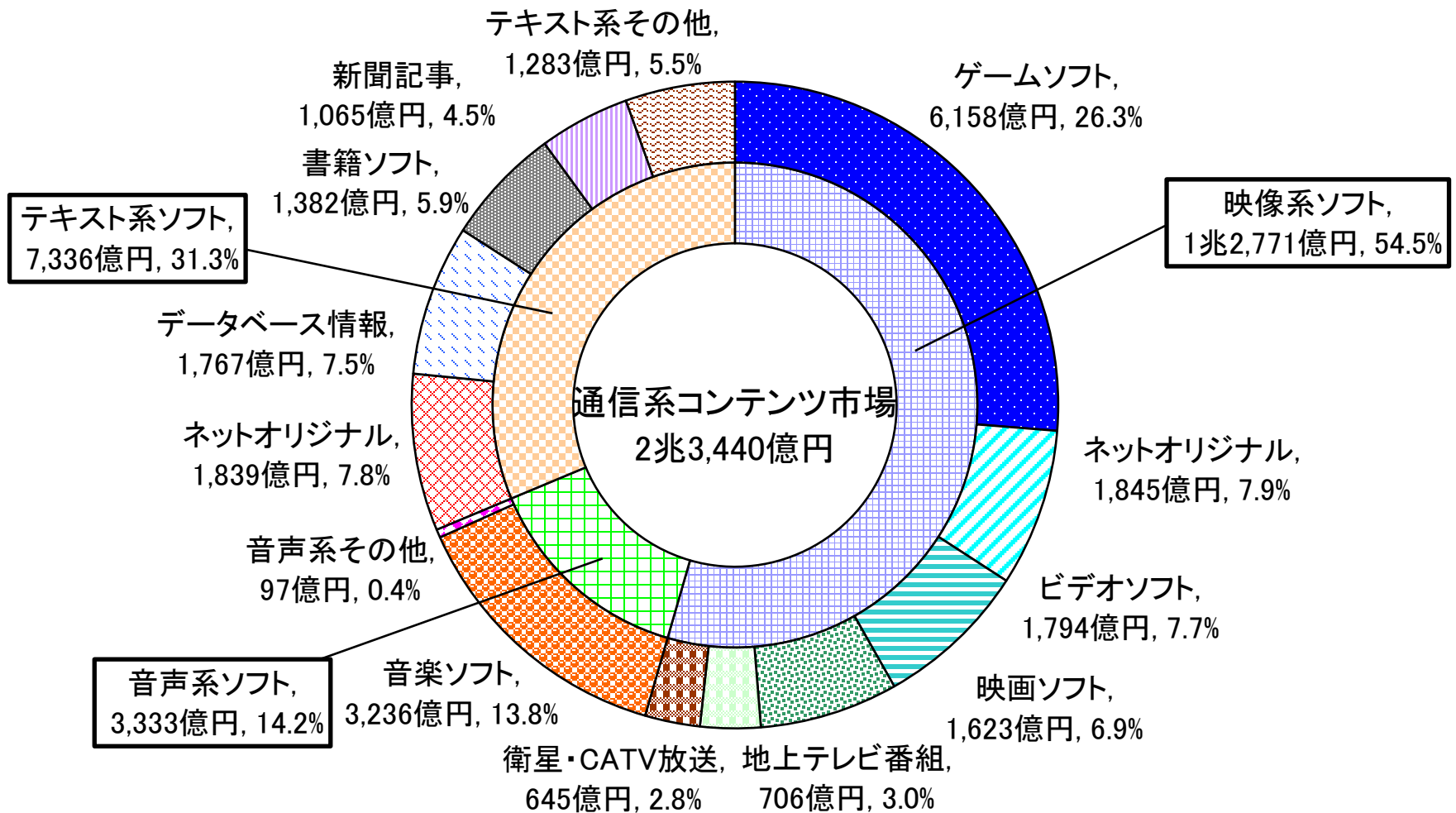


## マルチユース率の推移



コンテンツ市場のうち、パソコンや携帯電話向けなどインターネット等を経由した通信系コンテンツの市場規模は2兆3,440億円である。

ソフト形態別の市場構成比では、映像系が54.5%、テキスト系が31.3%、音声系が14.2%を占めている。



通信系コンテンツの市場規模は、2009年以降着実に増加している。ソフト形態別に見ると、映像系ソフトは2009年と2013年を比較して2倍超の約1.3兆円に達しており、通信系コンテンツ市場の進展をけん引している。

